The39th
Passenger Cars & Motorcycles
TOKYO MOTOR SHOW 2005

News vol.19 平成17年11月7日
第39回東京モーターショー2005 Passenger Cars & Motorcycles 乗用車・二輪車

"Driving Tomorrow!" from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。

第39回東京モーターショー閉幕

151万人来場者に、そして全世界へ「くるまのすべてに新提案」を発信

（社）日本自動車工業会主催の「第39回東京モーターショー（乗用車・二輪車）」が11月6日、盛況裏に閉幕した。千葉・幕張メッセを会場に、会期17日間。来場者総数は前回（第37回）を9万1,700人上回る151万2,100人に達した。

東京モーターショー開催50年の伝統を礎に、新たな半世紀へ第一歩を踏み出した今回のショーテーマは「“Driving Tomorrow!” from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。」として、日本を含む13カ国・1地域から参加した239社・5政府・1団体の各ブースを通じて、このメッセージにふさわしいクルマや部品などの出品展開が来場者のすべてに、そして内外プレスによって全世界に向けて発信された。

第39回東京モーターショーを振り返って―

「週末時の会場混雑」の解消という東京モーターショーの課題に、週末を3回入れた形の会期延長が極めて有効であった。総来場者が150万人を突破したにもかかわらず土、日曜、祭日の平均来場者は12万3,000人で、前回（第37回）平均を3万1,000人下回り、会期中の入場者数が平準化され、混雑緩和を実現した。

混雑緩和は当然、来場者にショーを楽しむ場や機会をより多く提供したことにつながり、会場内警備や来場者の案内・誘導など開催サポート面でもスムーズな運営をもたらした。迷子や落とし物が目立って減少した、などの緩和効果も見逃せない。

混雑感の薄まった展示会場は、今回から天井吊り照明が新設され、出展各社ステージの“光の演出”も一段と明るく、華やかに。

出品車両の世界初披露（WP）は79台、日本初披露（JP）120台。注目は世界最先端を走る燃料電池車、水素自動車、電気自動車、ハイブリッド車などの環境対応車55台の出品で、数多く展示された先進安全技術とともに来場者の関心を集めた。

一方で、明るく楽しいクルマ社会作りをめざした独創的、個性的デザインの出品も目立ち、乗用車から二輪車、部品・装備品のすべての分野で「環境・安全」と「快適性」の両立をアピールするショー展開となった。

また、クリーンエネルギー車同乗試乗会に加えて、少年少女モーターサイクルスポーツスクールなど主催者企画が増えた。各社のブースでも先進的な安全運転操作が楽しめるといったシミュレーターの設置台数が大幅に増加、来場者参加・体験型路線は完全に定着した感じだ。

東京モーターショーの国際ショーとしての熟成度も一段と深まった。自動車の国際連携の輪が広がる中で、国産車も海外出品車も区別なく展示会場に溶け込んでいる印象を与え、モーターファンの関心もクルマそのものに集中していた。

ショー開催50周年記念の特別企画、イベントホールでの国産の歴代名車の展示は、カロッツェリア展と併設したのが好評。新しい半世紀を担う若者たちが、日本自動車産業の興隆を支えてきた代表車を直接目にすることは意義深かった。こうした創意工夫の数々の企画も、第39回東京モーターショーを成功に導く要因となった。

第40回東京モーターショー開催予告

名称：第40回東京モーターショー（2007年）（仮）
主催：社団法人 日本自動車工業会
会期：2007年　秋
会場：千葉市・幕張メッセ

The39th
TOKYO MOTOR SHOW 2005
Passenger Cars & Motorcycles

入場者数

月　日	天 候	入場者数	累 計
10月19日（水）＜プレスデー＞	曇	8,500	8,500
10月20日（木）＜プレスデー＞	晴	4,800	13,300
※プレス入場者内訳（国内：10,000人、海外：3,300人）			
10月21日（金）＜特別招待日＞	晴	43,000	43,000
10月22日（土）＜一般公開日＞	雨	84,400	127,400
10月23日（日）＜一般公開日＞	晴	107,600	235,000
10月24日（月）＜一般公開日＞	晴	58,500	293,500
10月25日（火）＜一般公開日＞	晴	55,400	348,900
10月26日（水）＜一般公開日＞	曇のち雨	60,600	409,500
10月27日（木）＜一般公開日＞	雨のち晴	59,000	468,500
10月28日（金）＜一般公開日＞	晴	63,600	532,100
10月29日（土）＜一般公開日＞	曇一時雨	133,200	665,300
10月30日（日）＜一般公開日＞	曇	146,200	811,500
10月31日（月）＜一般公開日＞	曇	62,200	873,700
11月 1日（火）＜一般公開日＞	晴	71,500	945,200
11月 2日（水）＜一般公開日＞	晴	84,900	1,030,100
11月 3日（木・祝）＜一般公開日＞	晴	152,600	1,182,700
11月 4日（金）＜一般公開日＞	晴	92,000	1,274,700
11月 5日（土）＜一般公開日＞	晴	119,500	1,394,200
11月 6日（日）＜一般公開日＞	曇のち雨	117,900	1,512,100
一般入場者数合計　1,512,100人			

クリーンエネルギー車同乗試乗会参加者数
18,783人

シンポジウム参加者数
2,122人

少年少女モーターサイクルスポーツスクール参加者数
574組1,148人

献血協力者数
2,866人

骨髄バンクドナー登録者数
850人

協力会社一覧

POKKA
GRAN TURISMO 4 THE REAL DRIVING SIMULATOR
日本興亜損保 NIPPONKOA INSURANCE
goo www.goo.ne.jp
JT
Switch!
QUICPay
TOMY
HOT SPOT
Panasonic

プレスセンター協力会社

プレスセンター協賛

BRIDGESTONE

プレスセンター協力

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社
コニカミノルタプリンティングソリューションズ株式会社
日本航空株式会社
アップルコンピュータ株式会社
レノボ・ジャパン株式会社
マイクロソフト株式会社
株式会社シマンテック
株式会社ジェイティービー
株式会社シグマラボ
ニコンカメラ販売株式会社

東京モーターショーニュース制作協力

コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社

編集後記

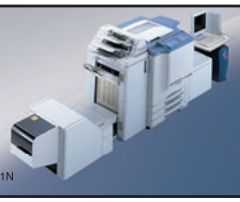
社団法人日本自動車工業会　理事・事務局長　田中　勲

『東京モーターショー』は、1954年に日比谷公園で産声をあげてから50年が経過し、今年は新半世紀に向けたスタートの年に開催された節目のショーとなりました。お陰さまで第39回ショーは、当初目標の150万人を上回るご来場をいただき、新たな半世紀に向けたショーへの第一歩を踏み出す意欲に弾みをつけることが出来ました。また、会期延長により、ご来場者数の平準化・混雑緩和を図り、ゆったりと見学いただける環境づくりも実現できました。

次回第40回ショーは、2007年秋に乗用車・二輪車・商用車・車体・部品関連製品のすべてを一堂に会する新総合ショーに衣替えしての開催となります。東京モーターショー50年の歴史を踏まえた『コンパクトな展示ながらも最大の情報発信力をもつショー』を目指して参ります。

東京モーターショーニュース・スタッフ

監　　修　神谷喜三
執　　筆　金子昭三、神谷喜三、山下雄璽郎、福田俊之、井元康一郎
写真撮影　野澤廣幸
協　　力　(株)イメージサイエンス
翻　　訳　Richard Walker (株)ユニカルインターナショナル
進行管理　(株)ユニカルインターナショナル
編　　集　(株)アイテム

KONICA MINOLTA

ON DEMAND PUBLISHER C-51N

東京モーターショー2005へご来場ありがとうございました。
開催期間中、このモーターショーニュースは一日5,000部、トータル90,000部、
コニカミノルタのON DEMAND PUBLISHER C-51Nでプリントされました。
コニカミノルタ オン・デマンド・プリントシステムは、必要な時に必要なだけ、さまざまなニーズに柔軟に対応。

The essentials of imaging
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
ODI事業部
TEL 03-5205-7820
Email odi-info@bj.konicaminolta.jp
URL http://www.ebook-print.com

東京モーターショーニュースVol.19　2005年11月7日発行
発行所　社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012　東京都港区芝大門1丁目1番30号　日本自動車会館
TEL.03-5405-6119　FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com
JAMA